

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		合同会社OceanHeart キッズワールドサポートOcean 2組		公表日		
				R7 年 5 月 29 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		訓練できるスペース、クルーダウン出来るスペースも区切られ何時でも利用できる。	発達支援室訓練室スペース適切に区切られるように工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	職員の配置は適切では、あるがやむ得ず職員が休むと配置が足りない。	職員の配置数は適切であるが子どもが安全でケガのないよう支援しているが、職員がやむ得ずお休みすると出来ない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		適切である。分かりやすいように絵カードを貼っている。	障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達を絵カードやホワイトボードを伝達し、環境上配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除をしたり、空気の入れ替えをし、心地よく過ごせる環境に努めている。	心地よく過ごせるよう環境作りや活動の空間作りを適切に行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもが個別の部屋や場所を使用する場の環境を設置している。	子どもが落ち着いて支援出来る部屋の環境を整えています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		業務改善を進めるためのサイクル(目標設定と振り返り)に、職員が話し合いをしている。	計画、実行、評価、改善等は、職員で話し合いをしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向けの評価表により、保護者の意見等を話し合いを行い、その内容に応じて業務改善に向け繋げている。	保護者の評価を確認し業務改善に向け話し合いを行うようにしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善に向け話し合っています。	ミーティング等で業務改善の意見等があったら、その都度話合うようにしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者による外部評価をしてない。	外部評価があればしていきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員の資質の向上を図るために、研修を受講したり、園内研修を開催する機会を設けている。	職員の資質の向上を図るため研修の受講や園内研修を開催する場を設けている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	支援プログラムを作成し、公表する予定です。	支援プログラム公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、放課後デイサービス計画を作成しています。	子どもや保護者のニーズに合わせ計画書を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理者だけではなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下、こどもの最善の利益を考慮し検討し放課後デイサービス計画を作成しています。	子どもの支援に関わる職員が共通理解の下最善の利益を考慮し検討しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		児童発達計画が職員間に共有し、計画に沿った支援が行われています。	外部評価があればしていきたいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントシートを使い聞き取りをしています。	アセスメントシートで、子どもの状況を日々観察し、確認しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援計画提供すべき支援、本人支援、家族支援、移行支援、のねらい及び支援内容も踏まえ、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されています。	子どもの支援に必要な項目が具体的に設定されています。地域支援、地域連携も取り入れて支援していきたいです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動プログラムを職員間で行っている。	活動プログラムを職員間で行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動プログラムを飽きないようにいろいろ工夫しています。	飽きないようにプログラムを色々工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動を適宜に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	個別活動・集団活動を組み合わせ児童発達サービス計画を作成し、支援を行うようにしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日行われる支援内容や役割分担についての確認し、職員間で連携し支援を行っている。	その日行われる支援内容や役割分担を確認し、皆で連携し支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5		支援終了後、その日行われた支援の振り返りをし、気づいた点を共有している。	支援終了後、その日行われた支援の振り返りを話し合い、気づいた点を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援に関し記録をし、支援の検証があれば検証し改善に繋がっています。	支援の検証があれば検証しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しが必要があれば適切な見直しを行っています。	定期的にモニタリングを行い児童発達計画の見直しがあれば見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		障害児相談支援事務所のサービス担当者会議や関係機関の会議に、子どもの状況をよく理解したものが参画しています。	子どもの状況をよく理解したものが、サービス担当者会議や関係機関の会議に参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5	地域の保健、医療（主治医や協力機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援があれば体制を整えるつもりです。	地域の保健、医療（主治医や協力機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援があれば体制を整えるつもりです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っていない。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解があれば支援をしています。	認定こども園等では支援内容の情報共有と相互理解を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	就学時の移行の際には、小学校との間で、支援内容等が必要であれば情報共有と相互理解していくつもりです。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5	地域の児童発達支援センターやスーパーバイズや助言や研修を受ける機会があれば受けます。	地域の児童発達センターやスーパーバイズの助言や研修があれば参加します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があれば参加したいです。	参加しやすいところから参加する予定です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つようにしています。	子どもの状況を保護者に伝えて子どもの発達や課題を共通理解を持つようにしています。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等をあればすすめます。	家族に対して家族支援プログラム家族の研修の機会や情報提供があれば進めるつもりです。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約を結ぶとき、見学の時に説明をしています。	契約の時に説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けてます。	子どもや保護者の意思の尊重、最善の利益の観点、子どもや家族の意向を確認をし、児童発達支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意書にサインの記入をしてもらう。	児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い保護者から支援計画書の同意書にサインを記入しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		家族等からの子育ての悩み等に対する相談にのり面談があれば、助言と支援を行っている	家族等から子育ての悩み等があれば相談や面談をし、助言をしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年2回保護者会等を開催し保護者で交流する機会を設けてます。	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っている。また、きょうだい同士で交流する予定があれば支援する予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。	子どもの保護者からの相談や申し入れがあったら対応の体制を整備し、子どもや保護者に周知し、迅速に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者やコドモン等での連絡もしくは、便りを出しています。	毎月たよりや活動状況や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者やコドモン等での連絡もしくは、便りを通してお知らせしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いには、十分に留意しています。	個人情報の取り扱いには、十分に留意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		障害のある子どもや保護者の疎通や情報伝達の配慮をゆっくり、焦らずに伝えてます。	障害のある子どもや保護者の疎通や情報伝達の配慮をゆっくり、焦らずに伝えてます。
非常	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	機会があれば、事務所の行事を地域住民を招待をしたいと思います。	機会があれば、事務所の行事の機会があれば、地域住民を招待をしたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員のみ事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル周知しているので、家族にも周知し、発生を想定した訓練を実施していくつもりです。	職員のみ事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル周知しているので、家族にも周知し、発生を想定した訓練を実施していくつもりです。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		災害に備え年2回訓練を行っています。（火災・地震・津波）絵本や紙芝居、災害の写真を見せ話し合っています。	災害に備え年2回訓練を行っています。（火災・地震・津波）絵本や紙芝居、災害の写真を見せ話し合っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートや利用前に聞き取りをします。服薬がある時は処方箋紙提出お願いします。	アセスメントシートや利用前に聞き取りをします。服薬がある時は処方箋紙提出をお願いします。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーがある子どもについては、利用前の聞き取りやアセスメントシートに記入や医師の診断書提出しています。	体調によって食物アレルギーが出る時もあるので、聞き取りを十分に行う。

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画作成、安全管理に必要な研修や訓練をし安全管理が十分された中支援が行われています。職員間にも重視しています。	安全計画作成、安全管理に必要な研修や訓練をし安全管理が十分された中支援が行われています。職員間にも話し合いを十分に行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		子どもの安全確保に関して、家族との連携が図られよう、緊急時の連絡先を入所前にフェイスシートに記入してもらい、安全計画の取組を家族へ周知する。	子どもの安全確保に関して、家族との連携が図られよう、緊急時の連絡先を入所前にフェイスシートに記入してもらい、安全計画の取組を家族へ周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起った時は、確認・記録をし検証を迅速に対応し、職員間で会議を開き対応しています。	ヒヤリハットが起った時は、確認・記録をし検証を迅速に対応し、職員間で会議を開き対応しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待を防止するため、職員の研修会を確保して、虐待かなと思ったら職員間で会議を開き対応しています。	虐待を防止するため、職員の研修会を確保して、虐待かなと思ったら職員間で会議を開き対応しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		虐待を防止するため、職員の研修会を確保して、虐待かなと思ったら職員間で会議を開き対応しています。	虐待を防止するため、職員の研修会を確保して、虐待かなと思ったら職員間で会議を開き対応しています。